



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 日工株式会社
 コード番号 6306 URL <https://www.nikko-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中山 知巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 川上 晃一 TEL 078-947-3141
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,294	△15.8	△54	—	68	△89.0	△61	—
2025年3月期第1四半期	9,849	16.6	462	—	625	827.4	337	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △45百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 747百万円 (1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△1.59	—
2025年3月期第1四半期	8.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	63,115	33,861	53.6	879.06
2025年3月期	63,725	34,560	54.2	897.73

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 33,832百万円 2025年3月期 34,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	22,700	0.3	1,150	△10.2	1,250	△14.9	700	△20.6	18.22
通期	51,000	3.7	3,000	8.4	3,100	0.9	2,100	4.5	54.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	40,000,000株	2025年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,512,826株	2025年3月期	1,512,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	38,487,341株	2025年3月期1Q	38,328,179株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会の開催日）

決算補足説明資料は2025年8月8日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

当社は、2025年9月5日（金）に機関投資家・アナリスト・新聞記者向け説明会（ライブ配信）を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界の経済情勢は、4月の米トランプ政権の相互関税政策発表に端を発した貿易摩擦激化予想から各国成長見通しにも不透明感が広がりました。また、イラン・イスラエルの軍事衝突により緊迫化する中東情勢をはじめとした地政学リスクも高まり、中国においても米中協議の進展で不透明感がやや緩和されたもののデフレ傾向と住宅価格の下落が依然として続いています。

日本の経済情勢においても、関税強化の輸出産業への影響、そして、インフレ率の高止まりと実質賃金の低迷が個人消費の重荷になっています。

このような状況下、主力のアスファルトプラント関連事業、コンクリートプラント関連事業においては、メンテナンスサービス中心に堅調に推移しましたが、アスファルトプラント製品販売は、長納期化による納期ずれや現場の労働時間の制約等による工事進捗の遅れの影響を受けており、当第1四半期連結累計期間の売上高は82億94百万円（前年同四半期比15.8%減）となりました。損益面では、積極的な人的資本への投資、研究開発への投資増加等もあり、連結営業損失は54百万円（前年同四半期は4億62百万円の利益）となりました。連結経常利益は68百万円（前年同四半期比89.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は61百万円（前年同四半期は3億37百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

<アスファルトプラント関連事業>

国内のメンテナンス事業及び海外の売上高は前期比増加しましたが、国内の製品の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前期比17.6%減の30億87百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

<コンクリートプラント関連事業>

国内の製品及び国内のメンテナンス事業の売上高は前期比増加しました。また、海外の売上高も前期比増加しました。この結果、当事業の売上高は、前期比9.4%増の24億25百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

<環境及び搬送関連事業>

環境製品の売上高は前期比増加しましたが、搬送製品の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前期比2.8%増の7億93百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比増加しました。

<破砕機関連事業>

破砕機製品の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前期比56.2%減の2億80百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

<製造請負関連事業>

製造請負の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は、前期比56.2%減の6億78百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

<その他>

土農工具の売上高は前期比増加しましたが、仮設機材の売上高は前期比減少しました。この結果、当事業の売上高は11.5%増の10億28百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における受注高、受注残高は前年同四半期比減少しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は631億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億10百万円の減少となりました。

流動資産は、389億77百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億49百万円の減少となりました。主な要因は、仕掛品が13億62百万円、商品及び製品が11億26百万円、現金及び預金が6億50百万円それぞれ増加したこと、売掛金が45億21百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、241億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億38百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券が3億74百万円、建設仮勘定が2億99百万円それぞれ増加したこと、建物及び構築物が1億25百万円減少したこと等によるものです。

負債は、292億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して89百万円増加いたしました。主な要因は、契約負債が17億47百万円、未払金が3億86百万円それぞれ増加したこと、支払手形及び買掛金が5億31百万円、未払法人

税等が4億54百万円、賞与引当金が4億34百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産は、338億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億99百万円減少いたしました。主な要因は、
その他有価証券評価差額金が2億52百万円増加したこと、利益剰余金が7億15百万円、為替換算調整勘定が2億76
百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.2%から53.6%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,038	14,689
受取手形	1,268	1,245
売掛金	10,153	5,631
電子記録債権	2,149	2,294
商品及び製品	1,219	2,345
仕掛品	9,044	10,407
原材料及び貯蔵品	1,450	1,416
為替予約	1	26
その他	801	922
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	40,126	38,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,279	8,154
機械装置及び運搬具(純額)	1,574	1,517
工具、器具及び備品(純額)	581	539
土地	4,627	4,660
リース資産(純額)	-	5
使用権資産(純額)	106	98
建設仮勘定	134	434
有形固定資産合計	15,305	15,410
無形固定資産		
のれん	166	211
その他	1,032	1,021
無形固定資産合計	1,198	1,233
投資その他の資産		
投資有価証券	5,565	5,939
出資金	107	107
長期貸付金	10	10
繰延税金資産	538	567
その他	1,002	996
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	7,094	7,493
固定資産合計	23,598	24,137
資産合計	63,725	63,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,932	2,401
電子記録債務	1,444	1,360
ファクタリング未払金	2,964	2,672
短期借入金	5,489	5,443
未払法人税等	873	419
未払金	962	1,349
前受金	17	17
契約負債	5,092	6,840
賞与引当金	665	231
役員賞与引当金	124	29
受注損失引当金	116	133
その他	830	692
流動負債合計	21,515	21,589
固定負債		
長期借入金	4,761	4,745
繰延税金負債	163	206
役員退職慰労引当金	128	128
退職給付に係る負債	2,147	2,153
その他	448	431
固定負債合計	7,649	7,664
負債合計	29,164	29,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,197	9,197
資本剰余金	7,805	7,805
利益剰余金	14,648	13,932
自己株式	△667	△667
株主資本合計	30,984	30,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,610	2,863
為替換算調整勘定	983	706
繰延ヘッジ損益	1	18
退職給付に係る調整累計額	△27	△23
その他の包括利益累計額合計	3,567	3,564
非支配株主持分	8	28
純資産合計	34,560	33,861
負債純資産合計	63,725	63,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,849	8,294
売上原価	6,780	5,487
売上総利益	3,068	2,806
販売費及び一般管理費	2,605	2,861
営業利益又は営業損失(△)	462	△54
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	114	127
為替差益	54	12
その他	26	29
営業外収益合計	196	170
営業外費用		
支払利息	22	32
固定資産処分損	0	10
その他	10	3
営業外費用合計	33	47
経常利益	625	68
特別利益		
投資有価証券売却益	3	-
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	3	-
特別損失		
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	627	68
法人税、住民税及び事業税	368	221
法人税等調整額	△76	△91
法人税等合計	292	130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	335	△61
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	337	△61

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	335	△61
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	252
繰延ヘッジ損益	40	17
為替換算調整勘定	215	△257
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	412	16
四半期包括利益	747	△45
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	762	△64
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	257百万円	292百万円
のれん償却額	7	8

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	アスファルト プラント 関連事業	コンクリート プラント 関連事業	環境及び搬送 関連事業	破砕機 関連事業	製造請負 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,746	2,217	772	640	1,550	8,927	922	9,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	2	-	-	2	46	49
計	3,746	2,217	775	640	1,550	8,930	968	9,899
セグメント利益又は セグメント損失(△)	179	241	162	54	229	868	37	905

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仮設機材事業、土農工具事業及び水門事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	868
「その他」の区分の利益	37
全社費用(注)	△442
四半期連結損益計算書の営業利益	462

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の企画・管理等の部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	アスファルト プラント 関連事業	コンクリート プラント 関連事業	環境及び搬送 関連事業	破砕機 関連事業	製造請負 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,087	2,425	793	280	678	7,266	1,028	8,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	8	-	-	8	27	36
計	3,087	2,425	802	280	678	7,274	1,056	8,331
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△123	277	211	△61	99	402	50	453

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仮設機材事業、土農工具事業及び水門事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	402
「その他」の区分の利益	50
全社費用(注)	△508
四半期連結損益計算書の営業損失	△54

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の企画・管理等の部門に係る費用であります。